

野鳥お勉強会特別企画 講演会

『北海道の希少鳥類を考える集い－夏鳥を減らさないために－』

北海道内に生息する希少鳥類、特にシマアオジやアカショウビンなどの夏鳥の減少の現状と課題について触れ、今後普通に見られる鳥たちが希少鳥類にならないために、私たちはどのように野鳥や自然と関わっていかなければならないかを考える。

この度は、古くからシマアオジなどの減少に関心を持ち、中国など各地を調べ歩かれた遠藤公男氏をはじめとする道内の野鳥研究者や動物写真家を講師にお招きし、道民と触れ合いながら意見交換を行う。

なお、本講演は、北海道新聞野生生物基金の助成を受けて開催します。

開催日時 平成27年11月28日（土曜日） 13:00～17:30

開催場所 札幌学院大学社会連携センター（札幌市中央区大通西6丁目（南大通））

プログラム

[第1部] 特別講演

『シマアオジの受難』 遠藤公男氏（動物文学者）

『道央からアカショウビンが消えた』 嶋田忠氏（鳥類写真家）

[第2部] 講演&パネルディスカッション

『タンチョウの群れを保つための情報－群れの状態を捉えるため、どのように調査を行ってきたか－』 正富宏之氏（専修大学北海道短期大学名誉教授）

『シマフクロウのこと』 早矢仕有子氏（札幌大学教授）

『沈黙の春、再来？ 夏鳥の減少』 玉田克巳氏（北海道立総合研究機構研究職員）

講演会の申し込み・問合せ

定員：80名程度（※予定人数を越えた場合はお断りします）

参加費：無料

申し込み：必須（名前、住所、連絡先など）

申込先：メール：tomikawa@toriben.org（野鳥お勉強会代表 富川）

電話：090-4874-1705（できるだけメールでお願いします）

申込期間：11月20日締切り

懇親会

時間：18:00～20:00

場所：「鳥次郎」札幌市中央区大通西5丁目昭和ビル地下街 011-241-9777

会費：一般 3,500円（学生 2,000円）

主催：野鳥お勉強会 協賛：北海道新聞野生生物基金、(株) 野生生物総合研究所

協力：エコ・ネットワーク、北海道野鳥愛護会